



日本財団は(財)日本船舶振興会の通称です。
インターネット: <http://www.nippon-foundation.or.jp/>

私たちは、競艇の
売上の3.3%を財源として
ひろく社会のニーズに
応えるよう努力をしています。
きょうは、その事業の
一部を支援している
「海洋科学技術センター」の
活動をご紹介します。

海

海は、
ちかごろ、
おかしいぞ。

海と仲よく暮らしていくためには、海と真正面から向き合わないといけないんだ。

「海洋科学技術センター」では、環境汚染など海がかかえるさまざまな問題の解明を急ぎ、海とうまくつきあっていく方法を探っています。例えば、漁業や養殖の盛んな三重県の協力を得て研究を進めている、沖合浮体式波力装置「マイティーホール」。これは、波の力を電力に変えて、そのエネルギーで海を浄化するとともに、装置の後方の波を静めて、沿岸海域の環境と安全を守る装置です。もちろんこれは、センターが行っている事業のほんの一例。

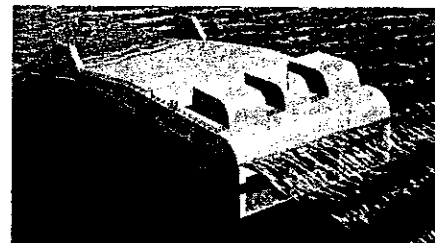
私たちにとってかけがえのない海とよい関係を遠い未来まで保っていく

ために、今、いろんな謎や問題に真正面から向き合っていく必要があります。海洋技術の研究・開発はもちろん、すべての人々がもっと興味や関心を持つことこそ、海と仲良く暮らしていく最良の方法を見つける近道となるのです。

あなたも参加しませんか。

日本財団では、青少年層を中心に広く一般に海に対する関心を高めてもらうことを狙いとして、海洋科学技術センターの事業を支援しています。昨年から実施している「マリンサイエンススクール」は、高校生と研究者・技術者との対話や海洋実習を通じて地球環境・資源問題を考えてもらおうとするものです。

お問い合わせは、海洋科学技術センター ☎0468-67-5533まで



イラストは、平成10年完成予定で建造が進む沖合浮体式波力装置「マイティーホール」(全長50m/幅30m)。三重県五ヶ所湾での実験開始が予定されています。